

1.ごあいさつ

～ ご利用されるお客さま、地域の皆さまへ ～



神戸電鉄株式会社
代表取締役社長
井波 洋

平素から当社の鉄道事業に対し、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は1926年（大正15年）に神戸有馬電気鉄道株式会社として設立され、1928年（昭和3年）に湊川～有馬温泉駅間の営業を開始しました。近年では1995年の「阪神淡路大震災」での被災や2018年の「平成30年7月豪雨」などの激甚化する自然災害に見舞われるなど、これまで幾多の苦難を乗り越えて現在に至っておりますが、これはひとえにお客さまをはじめ地域の皆さまや沿線の自治体のご支援とご協力の賜物であり、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。今後も、お客さまに「安全・安心・快適」をお届けすることを使命として、お客さまの豊かな暮らしを実現し、地域社会に貢献することを目指して鉄道の安全運行に努めてまいります。

当社では2006年に安全管理規程を制定し、輸送の安全の確保を最優先に「安全方針」「安全目標」「防災の基本方針」を掲げて安全管理体制の継続的な改善と強化・充実に努めており、安全を最優先する企業風土の構築に向けた取組として、具体的な行動の指針となる「行動規範」を定め、輸送に携わる従業員一人ひとりにその理解・浸透を図り、安全管理体制のさらなる強化・充実に努めております。

また2024年度におきましては、ハード面では山間部の多い当社沿線の現状に鑑み、引続き法面補強をはじめとする自然災害対策を実施するとともに、まくらぎのPC化や電車線支持物(電柱)の建替を進めるとともに、変電設備機器や車両機器の更新等を計画的に行い、保安度の向上を図りました。また、ソフト面では自然災害(地震)を想定した鉄道事業本部合同復旧訓練のほか、沿線の警察・消防などの関係機関と連携した「車内刃物所持者対応に係わる訓練」を実施するなど、非常時でも適確に判断し行動できる社員の育成に努めております。さらに、日常の業務等を通して『事故やインシデント等の要因となる不安全行動をしない、させない、許さない』、『輸送の安全を確保する最後の砦は扱う人である』ことを社員一人ひとりが認識・共有することで、『絶対に事故を起こさない』という高い安全意識を持った人材の育成と安全を最優先する職場風土の醸成に取り組んでおります。

加えて人材確保のため、「ウルトラ大作戦」と銘打って、「ウルトラマン」とのタッグによる当社グループの採用強化キャンペーンを展開しております。「地域を支える誇り」という我々の仕事を持つ魅力を多くの皆さまに理解・共感していただき、一人でも多くの方に「ウルトラ」な仲間に加わっていただきたく思います。今後も地域の活性化に繋がる企画を継続的に取り組んでまいります。

また当社線は、谷上駅において神戸市営地下鉄・北神線と連絡接続しており、当社沿線である北神・北摂地域から神戸市中心部への利便性が益々向上するなど、兵庫県内の南北を結ぶ基幹鉄道としての当社が果たす役割が大変重要なものとなっております。そのような中、神戸市との連携による駅の美装化工事により、2024年度は有馬温泉駅において日本有数の温泉街の玄関口にふさわしい駅施設へと再整備を行い、ご利用されるお客さまや地域の皆さまにも温泉風情を味わえる快適な公共空間としてご利用いただいております。今後も駅やその周辺のリノベーションなどを通じて、地域の皆さまや沿線の自治体と連携・協働し、より魅力ある沿線の実現を目指し取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、輸送の安全を確保するための取組や安全管理体制の実態等について自ら振り返り、また、皆さまに広くご理解いただくためにまとめたものであります。皆さまにおかれましては、本報告書を是非ご高覧いただき、率直なご意見とご感想をお聞かせいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

2025年9月

